

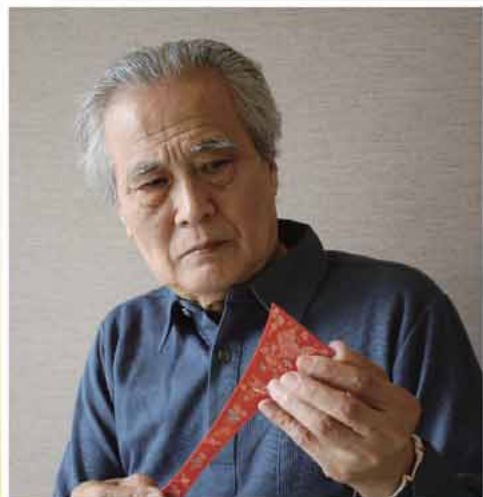
文化財 だより

NO.10

発行 ● 太田市教育委員会 発行年月日 ● 平成24年3月31日 編集 ● 太田市教育委員会文化財課
住所 ● 群馬県太田市粕川町520 電話 ● 0276-20-7090 FAX ● 0276-52-6080

太田市指定文化財が新たに2件！

市指定重要無形文化財「撥鏤（ばちる）」と市指定史跡「寺山古墳」



技術保持者の村松親月氏

「撥鏤」^{ばちる}とは、象牙を紅色や紺色に染め、表面を彫刻して白い象牙の素地^{あらわ}を顕すことで図柄や文様を表現する工芸技法です。中国の唐代（8世紀）に最盛期を迎え、日本では奈良時代に隆盛しました。正倉院宝物にはこの技法が施された撥鏤作品が数多く収蔵されています。しかし、撥鏤技法は千年以上にわたってその技法が途絶えてしまいました。明治時代になって正倉院宝物を基にして撥鏤技法が復元され、1985年には工芸技術として国重要無形文化財に指定されています。

文化財保持者である村松藤男^{むらまつふじお}（雅号：親月^{しんげつ}）氏は特に撥鏤の染色方法を重視し、長年検討を重ね、染色方法の復元を行いました。村松氏の作成した撥鏤作品等は奈良国立博物館に寄贈され、同館の展示において公開されるなど貴重な収蔵品となっています。その撥鏤技法の復元は、現時点での最高峰にあると考えられています。

（上の写真は、村松新月氏から太田市に寄贈された「正倉院所蔵撥鏤復元作品」）



太田市指定史跡 てらやま こふん 寺山古墳



寺山古墳全景：南西から撮影

寺山古墳は、金山丘陵の北西端に張り出した支丘陵の上に築かれた全長約60mの前方後方墳です。発掘調査は行われていないので詳しいことはわかりませんが、墳形などから古墳時代初期、4世紀前半頃に造られたと考えられています。

太田市内で現在確認できる古墳の中では最も古いもので、墳丘の保存状態も良く、造られた当初の形をとどめている前方後方墳としては、太田市内でも唯一のものとなっています。

古墳時代初期に金山の西側地域の発展を主導した首長の墳墓と考えられる寺山古墳は、太田市域の歩んだ歴史の理解を深める上で貴重な文化遺産であります。

この貴重な古墳を将来に継承するため、平成23年7月21日に市の史跡として指定しました。



寺山古墳案内図

【指定年月日】平成23年7月21日

【指定面積】6008.67㎡

【所在地】太田市強戸町162-1



史跡金山城跡来訪記念投句選考結果

第一期

(平成22年12月1日から平成23年2月28日まで)

◎一般の部

○特選 (1点)

・「城跡の碑の深彫りや黄水仙」

神奈川県川崎市

前田和子

○佳作 (2点)

・「松籟に雄叫びまじる武者だまり」

群馬県伊勢崎市

細野長司

・「大寒の大堀初の底歩く」

埼玉県熊谷市

田島良生

◎ジュニアの部

○特選 (1点)

・「寒い日も古城見ながら山歩き」

埼玉県深谷市

西田葵

○佳作 (2点)

・「ふゆやすみ家族四人で初まいり」

群馬県太田市

秋草沙里

・「金山から楽しい声が聞こえるね」

群馬県太田市

小野芙由紀

第二期

(平成23年3月1日から平成23年5月31日まで)

◎一般の部

○特選 (1点)

・「桜咲く棠転と云う別れあり」

群馬県伊勢崎市

小暮芳男

○佳作 (3点)

・「四阿の柱八本花曇」

神奈川県川崎市

前田伸夫

・「うぐいすの声をこだまに御城道」

群馬県太田市

木村康子

・「春一番吹いて金山東ねけり」

群馬県太田市

中島君枝

◎ジュニアの部

○特選 (1点)

・「日の池に姿うつして燕舞う」

群馬県太田市

高橋陽平

○佳作 (2点)

・「わたしもねけやきみたいになりたいな」

埼玉県深谷市

粕谷有里

・「金山城歴史を語るけやきの木」

埼玉県深谷市

粕谷麻衣

第三期

(平成23年6月1日から平成23年8月31日まで)

◎一般の部

○特選 (1点)

・「七曲背にふりつづく蟬しぐれ」

群馬県邑楽郡大泉町

大濱裕子

○佳作 (2点)

・「石垣の不規則模様風涼し」

埼玉県熊谷市

田島香宇知

・「武士の息づかいあり梅雨の空」

福岡県福岡市

池田平太郎

◎ジュニアの部

○特選 (1点)

・「金山を歩くと響くせみの声」

群馬県太田市

山田裕希

○佳作 (2点)

・「金山のセミ鳴く季節御城道」

群馬県高崎市

井澤亮介

・「あついけどひびきわたるねせみの声」

群馬県太田市

吉田陽奈大

第四期

(平成23年9月1日から平成23年11月30日分)

◎一般の部

○特選 (1点)

・「復元のかまどを覗く冬隣」

埼玉県熊谷市

田島良生

○佳作 (2点)

・「石垣に一期一会の秋惜しむ」

群馬県伊勢崎市

小暮芳男

・「古城道木の実踏む音落つる音」

埼玉県熊谷市

銭屋照世

◎ジュニアの部

○特選 (1点)

・「山の中まわりを見れば秋の色」

福島県いわき市小川町

関口樹

○佳作 (1点)

・「柿を食う侍おもう金山城」

群馬県太田市新島町

佐藤みな夫



史跡 かな金 やま山 じょう城 あと跡 の最新情報

調査場所 太田市金山町

調査期間 平成23年11月14日～平成24年3月27日

調査面積 約192㎡

大手通路を確認するための月ノ池南における発掘調査は、平成21年度から始まり、今年度で3年目となりました。平成23年度は、前年度調査で確認された曲輪の石垣や通路、石組み排水路の続きを調査しました。その結果、長さ約10m、幅約6mの空間に門の土台となる礎石などが見つかりました。また、この空間の西縁にある曲輪の石垣の裏込め部分からは、古い時期の石垣が見つかり、改修によって前面に石垣を積みなおしていることが分かりました。さらに平成21年度調査で確認した曲輪の石垣の続きが見つかりました。これにより、門を抜けて通路がまっすぐ北へ延びていることが分かりました。

これまでの調査結果から、大手通路の大まかな構造について次のように想定することができます（大手通路想定図）。まず、通路は下から石垣に沿っていったん南へ向かった後（①）、Uターンするように門へ向かいます（②）。この通路は上にある門からは丸見えで、しかも登ってくる者が無防備にも背を向けなければ通ることができないようになっており、城を守るのに都合よく工夫されています。この門（③）は、西の曲輪の石垣及び石塁と、東の岩盤斜面及び^{たてぼり}竪堀によって強固な防御線を形成しています。門を抜けると通路はまっすぐ進んだあと（④）、東へ折れ曲がるものと想定されます。東へ折れ曲がった通路（⑤）は、平成10年度調査で見つかった門（⑥）へ向かいます。この門は幅約2.7mで、両脇に縁石があります。この門を抜けると、金山城の一大防御拠点である大手虎口が目前に控えています。

今後は、この通路の南の先がどのようなになっているのか、また排水路がどのようなあり方をしているのかを明らかにすることが課題となります。



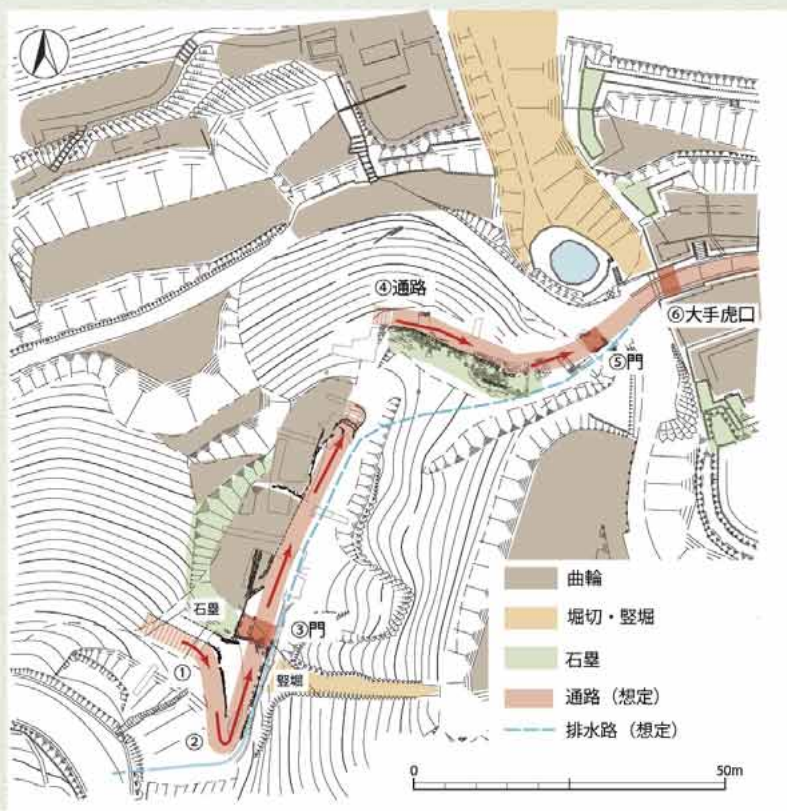
見つかった門跡（南東から）



見つかった石組み排水路（北東から）



改修の痕跡が見られる石垣（北から）



大手通路想定図

史跡新田荘遺跡・江田館跡確認調査

●調査期間 平成23年7月5日
～平成23年9月30日

江田館跡は、史跡新田荘遺跡（11遺跡）の1つで、太田市新田上江田町にあります。土塁や堀が良好に残っています。これまでの部分的な発掘で土塁の構造は分かっていたのですが、建物の配置などは不明でした。平成22年度から計画的な調査を実施することになり、22年度の調査では掘立柱建物の柱穴がみつき、建物跡が残っていることが見込まれました。23年度の調査では、堀ノ内と呼ばれる主郭部と二ノ丸で平面的な発掘を行い、17棟の掘立柱建物の他に、溝・井戸・土坑などが見つかりました。また、出土遺物は、在地産のカワラケや銅、中国産の青磁片、瀬戸美濃産の天目茶碗、常滑産の大甕、碯石、烏帽子とみられる漆製品などがあり、16世紀を中心とするものでした。



2トレンチ・遺構状況（西から）



3トレンチ・遺構状況（西から）



史跡金山城跡 現地説明会（平成24年3月4日(日)）

説明会当日は、曇り空の寒い一日でしたが開始の午前10時には、教育長をはじめ多くの見学者が訪れ、大手通路の石垣や水路等の解説を熱心に聞いていました。

平成22年度は東日本大震災の影響で説明会が中止となりましたが、昨年度の成果と合わせ、新たに見つかった門の礎石や通路の改修状況などを200名の方が見学されました。



大手虎口へ続く通路の説明



岩盤を加工して造られた石垣の説明



門の遺構の説明

金山城保存会

金山城保存会は、史跡金山城跡を愛し、その整備箇所を中心とした環境美化活動等を毎月第4金・土曜日に行っています。その活動内容は、現在復元整備が行われている場所の草刈りや清掃活動と、来訪者に対しての案内を行うボランティアガイドを実施しています。平成23年度は、28団体、約700人の方々に金山城のガイドを行いました。また、会員の研鑽^{けんさん}を高めるために毎年研修会を行い、今年度は下田城等を見学しました



金山城のガイド状況



下田城での研修会



おおたんの史跡探検スタンプラリー

太田市に数多く存在する貴重な歴史遺産を、正しく理解・認識し、より身近に感じていただくため、平成23年度も引き続き「おおたんの史跡探検スタンプラリー」を実施いたしました。

小・中学校の夏休みとなる平成23年7月21日から8月31日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計22箇所にスタンプを設置しました。参加者はガイドマップに載っている地図をたよりに、夏の暑い盛りの中スタンプを求めて市内各所を巡りました。

スタンプを設置した全22箇所のうち17箇所以上を巡ると修了認定されますが、今回は3,007名の参加申込者があり、その内の1,771名が修了認定されました。

修了者には記念品として、平成23年7月に太田市指定重要無形文化財に指定された「撥鏝（ばちる）」技法によって作られ、正倉院宝物として伝わる「紅牙撥鏝尺（こうげばちるのしゃく）」をイメージした特製定規が贈呈されました。

参加者の皆さんには、スタンプラリーを通して太田の歴史を学ぶとともに、家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。



スタンプラリー実施状況（恵林寺）



スタンプラリー実施状況（岩松八幡宮）



ガイドマップとスタンプ帳



記念品（特製定規）



文化財講演会

と き：平成24年2月11日（土）

午後1時30分

ところ：藪塚本町文化ホール

参加者：267人

平成23年7月21日、「寺山古墳」が太田市史跡に指定されました。

今年度は、この「寺山古墳」と同時期に太田地域で造られた古墳や居館、人々の動きを通じ「太田の古墳時代前期」をテーマとして文化財講演会を開催いたしました。太田市出身で古墳時代、特に埴輪祭式及び豪族居館研究の第一人者である橋本博文氏をお迎えした講演と古墳時代に対する市民の関心の高さから、250人を超える多くの方にご参加いただきました。



寺山古墳遠景

基調報告

「石田川式土器の誕生と古墳時代のはじまり」

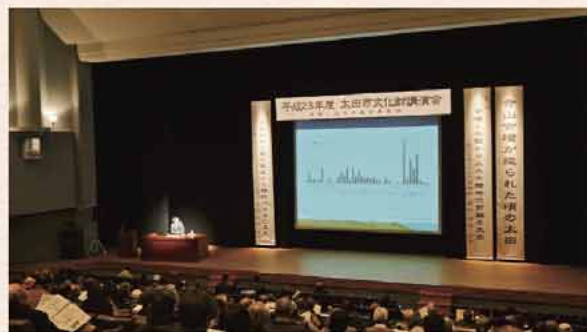
群馬県教育委員会文化財保護課指導主事である深澤敦仁氏から、石田川式土器を中心に古墳時代前期の太田について基調報告をいただきました。聴講者を惹きつけるそのお話は非常に好評でした。

講演「古墳と居館からみた古墳時代前期の太田」

新潟大学の教授である橋本博文氏から、全国的な視点による前方後方墳と寺山古墳の位置づけについてご講演をいただきました。

特に、古墳時代前期の副葬品（副葬鏡）の最新情報など誠に興味深いお話をいただきました。

古墳時代研究の第一人者である橋本氏のご講演は、豊富な知識を踏まえた分かりやすいお話であり、参加者も満足しておりました。



講演中風景



基調報告をしていただいた深澤敦仁氏



講演していただいた橋本博文氏



講演会場内風景



講演会ポスター



企画展示

藪塚本町文化ホールの多目的室において「寺山古墳が造られた頃の太田」の展示を行いました。

寺山古墳や朝子塚古墳等のパネル展示のほか、「石田川式土器」の型式設定資料、成塚向山1号墳出土遺物、舟形土製品、豪族居館の遺物とされる中溝・深町遺跡出土遺物など「太田の開拓者」に関わる資料を展示いたしました。



展示会場風景



成塚向山1号墳出土遺物の展示状況



中溝・深町遺跡出土遺物の展示状況

文化財めぐり

- テーマ 航空の歴史を辿って
- とき 平成23年11月27日（日）
- ところ 予科練平和記念館（阿見町）
亀城公園・土浦市立博物館（土浦市）
JAXA 筑波宇宙センター（つくば市）

今回は、「航空の歴史を^{たど}って」をテーマとし、茨城県を訪れ、太平洋戦争当時の海軍航空隊を学べる「予科練平和記念館」、県指定史跡・土浦城跡である「亀城公園」、公園に隣接する「土浦市立博物館」、宇宙航空研究開発に関わる資料が数多く展示された「JAXA 筑波宇宙センター」を見

学しました。

市民の関心も非常に高く、定員の3倍以上の応募をいただきました。

「予科練平和記念館」では、戦争当時の海軍飛行予科練習生の実態を知ることができ、平和について考えさせられました。

「土浦市立博物館」では土浦市の歴史を学び、その後、「亀城公園」を自由散策しました。

「JAXA 筑波宇宙センター」では、まずロケット発射時の音響を体験し、その後、人工衛星の展示などの解説を受け、充実した見学となりました。



「予科練平和記念館」



筑波宇宙センター H2ロケット



新田郡衙(天良七堂遺跡)の最新成果

- 調査場所 太田市天良町、寺井町、新田小金井町地内
- 調査期間 平成23年10月19日～12月28日
- 調査面積 約1,700㎡

太田市教育委員会では、平成20年度から、遺跡の範囲や内容を確認するための発掘調査を行っています。平成23年度の調査では、郡庁の北側を中心に多くの米倉(正倉)が造られていることや、郡衙の東限溝が確定されるなどの成果をあげることができました。



正倉の基礎の断面



重なり合った正倉の跡



新田郡衙全体図



○正倉北群の発見

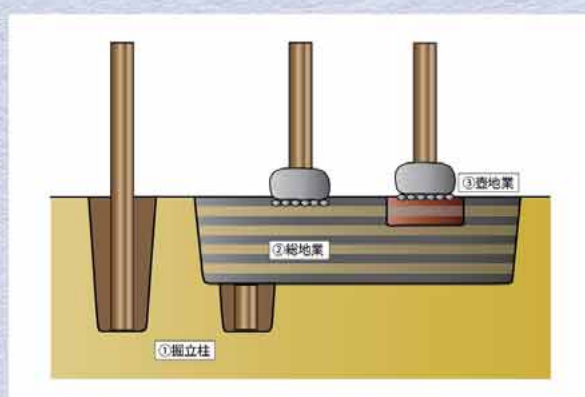
郡庁の北側を中心として、大規模な倉庫の跡が
発見されました。発見された倉庫の跡は、掘立柱
建物跡17棟、礎石建物跡7棟以上でした。今回の
調査では、掘立柱建物の構造から総地業の礎石
建物の構造に建て替えられ、さらに壺地業の礎石
建物の構造に建て替えられたことが明らかになり
ました。倉庫の周辺からは、炭化米が多く出土し、
火事に遭って燃えたことがわかりました。



礎石建物跡（壺地業）



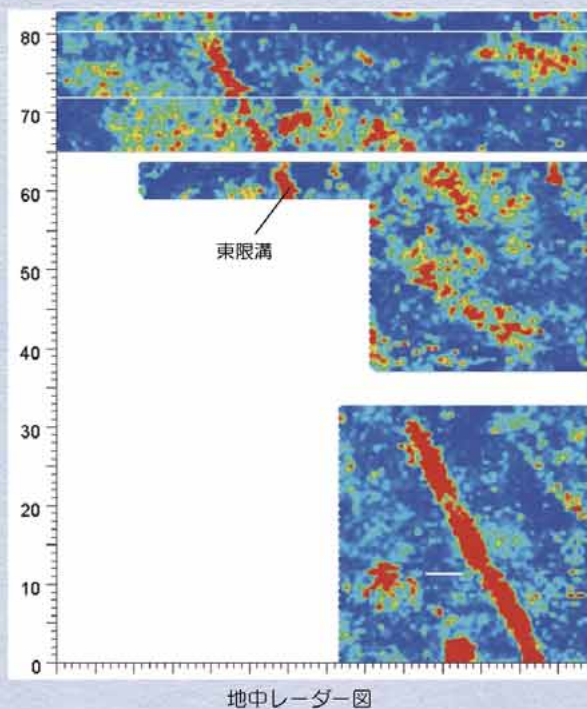
総地業の基礎断面とこの下で確認された柱穴



倉庫の変遷模式図

○郡衙東限溝の確定

郡衙の東を区画する溝が新たに6箇所を確認
されました。この発見によって、郡衙の東限が確定
され、郡衙の周囲が東西約400m、南北約300
mの台形の溝で区画されていることが明らかになり
ました。



発掘された東限溝



平成23年12月16・19日には、小学生を対象とした現
場の公開を行い、475人の方に参加していただきました。
また、12月18日には一般の方を対象とした現地説明会を
実施し、642人の方に見学していただきました。



だい どう ひがし い せき
大道東遺跡

- 調査場所 太田市東今泉町地内
- 調査期間 平成23年6月27日～7月11日
- 調査面積 219.65㎡

北関東自動車道側道建設工事に伴って、県道316号線の東側で大道東遺跡の調査を実施し、その結果、古墳時代から古代の住居跡6軒や土坑2基などが発見され、甕や坏などの土器が出土しました。また、住居跡の1軒からは、天井部の一部が残っているカマドが検出できました。



大道東遺跡の全景（東から）



天井部の残るカマド（西から）

はな その い せき
花園遺跡

- 調査場所 太田市新田木崎町地内
- 調査期間 平成23年10月18日～28日
- 調査面積 132㎡

民間の宅地分譲に伴い発掘調査を行いました。その結果、古墳時代から古代にかけての竪穴住居跡8軒などが発見されました。狭い範囲の調査にもかかわらず多くの遺構が見つかったのは、この場所が木崎台地の先端という立地条件が良い土地であったためと考えられます。



全景（東から）

かわ く ぼ かわ く ぼ に い せき
川久保・川久保Ⅱ遺跡

- 調査場所 太市新田下田中町地内
- 調査期間 平成23年7月4日～10月11日
- 調査面積 川久保遺跡 約3,805㎡
川久保Ⅱ遺跡 約1,385㎡

新田下田中工業団地造成事業に伴って発掘調査を行いました。その結果、川久保遺跡では、竪穴住居跡3軒（古墳時代）、溝6条（古墳時代、近現代）、土坑13基（弥生時代、古墳時代等）などの遺構が確認されました。特に、古墳時代の溝は幅2.8mもあり、遺物が多く出土しました。また、川久保Ⅱ遺跡では、竪穴住居跡2軒（奈良・平安時代）、土坑2基（古墳時代～奈良・平安時代）などの遺構が確認されました。この様な調査から、この早川近辺の場所では、弥生時代後期から人々が活動し、古墳時代に入ると、集落が形成されていたことが分かりました。また、奈良・平安時代には、さらに沿岸部の低地部まで集落が広がったことが確認されました。



全景（北から）



きた の しょう い せき 北 之 庄 遺 跡

- 調査場所 太田市由良町地内
- 調査期間 平成24年1月13日～1月30日
- 調査面積 約135㎡

宅地分譲に伴い発掘調査を実施しました。少ない面積でしたが、古墳時代の住居跡7軒や中世の溝1条や井戸1基・土坑4基などを検出しました。

その中でも古墳時代の住居跡の1軒からは、平安時代の地震による地割れ(断層)によって、約20cmの段差が出来ていることが確認できました。



地震による地割れによって床面に段差のできた住居跡(南東から)

はま ちょう こ ふん ぐん 浜 町 古 墳 群

- 調査場所 太田市浜町地内
- 調査期間 平成23年9月22日～10月4日
・12月5・6日
- 調査面積 約95㎡

太田駅周辺区画整理事業に伴い発掘調査を実施しました。古墳時代の住居跡1軒・平安時代の井戸1基・土坑3基・地震に伴う地割れなどを検出しました。

その中でも古墳時代の住居跡の1軒からは、平安時代の地震による地割れにより、南側の壁がずれていることが確認できました。



地震による地割れ(中央の溝状部分)によって南側の壁がゆがんだ住居跡(東から)

しも た じま い せき 下 田 島 遺 跡

- 調査場所 太田市下田島町地内
- 調査期間 平成23年8月22日～10月7日
- 調査面積 約560㎡

宝泉南部土地区画整理事業新設道路工事に伴って実施した発掘調査で、古墳時代の古墳周溝、古代の住居、掘立柱建物跡、溝、井戸等が確認されました。

遺物は古墳の墳丘に配列してあったであろう円筒埴輪等が出土しました。



古墳周溝の調査風景(南から)



全景(北から)



かざ うま オクマン山古墳出土の埴輪飾り馬修復事業

太田市指定重要文化財である飾り馬埴輪が、太田市立生品中学校から文化財課へ管理移管されたことを機に修復を行いました。

以前にコンクリートによる修復がされており、運搬・展示に堪えなかったため、解体し、再修復を行いました。

飾り馬埴輪は高さ1.12m、横幅1.1mあり、たてがみは長く整い、口にくつわが着けられ、背中に鞍が置かれています。胸には鈴が4つ、尻には雲珠とよばれる金具が付けられています。

この埴輪はきわめて大形の盛装された飾り馬埴輪で古墳時代の文化や地域を知る上で貴重な資料です。

〔オクマン山古墳〕

太田市城西町に所在した古墳。由良台地の北端、脇屋正法寺の東方約200mの位置にあった直径36m前後の円墳。現在は開発により消滅し、その姿を見ることはできません。



修復前写真



修復後写真

埋蔵文化財最新情報展「まぼろしの城 大島城跡」

- 会場：史跡金山城跡ガイダンス施設
- 開催期間：平成24年3月10日～5月6日

総合太田病院の建替えに伴って発掘調査を行った城ノ内遺跡の遺物や写真パネルの展示を行いました。

今回の調査で大島城跡の西側部分の詳細が明らかになったため、今回の調査成果と現況の地籍図や地形をもとに縄張り図を作成し、展示しました。



大島城跡縄張り図



重なった状態で出土したかわらけ



展示会場



出土遺物の整理作業

文化財課では、発掘調査の成果を公開するために、出土した土器の実測・写真撮影等を行い、発掘調査報告書やパンフレットの作成を行っています。

平成23年度は、太田市内遺跡、城ノ内遺跡、天良七堂遺跡、下宿遺跡、塚廻り古墳群、岩松千歳2遺跡、北部スポーツ公園内遺跡群の各整理事業を実施しました。その結果、『太田市内遺跡7』や『城ノ内遺跡』、『天良七堂遺跡3』、『下宿遺跡発掘調査報告書』、『塚廻り古墳群』の各報告書と、『塚廻り古墳群』、『オクマン山古墳』のパンフレットを刊行することができました。



刊行された報告書・パンフレット

平成23年度 調査地一覧表

No.	遺跡名	所在地 (太田市)	確認 調査月	開発 原因	No.	遺跡名	所在地 (太田市)	確認 調査月	開発 原因
1	国清寺城跡	市場町	H23.4	民間	23	道知塚遺跡	南矢島町	H23.10	民間
2	小谷場古墳群	牛沢町	H23.5	民間	24	FP泥流下遺跡群	亀岡町	H23.10	民間
3	東部地区遺跡群	岩松町	H23.5	組合	25	北之庄遺跡	由良町	H23.10	民間
4	高瀬前原遺跡	市場町	H23.5	民間	26	北之庄遺跡	由良町	H23.10	民間
5	FP泥流下遺跡群	岩松町	H23.6	民間	27	狐森古墳群 由中遺跡	由良町	H23.10	県
6	下田島遺跡	下田島町	H23.6	市	28	FP泥流下遺跡群	岩松町	H23.11	民間
7	北之庄遺跡	由良町	H23.7	民間	29	上遺跡	鳥山上町	H23.11	民間
8	成塚古墳群	成塚町	H23.7	民間	30	小谷場古墳群	牛沢町	H23.11	民間
9	浜町古墳群	浜町	H23.7	市	31	向野遺跡	高林東町	H23.11	民間
10	天良七堂遺跡	天良町	H23.7	民間	32	北之庄遺跡	由良町	H23.12	民間
11	天良七堂遺跡	天良町	H23.7	民間	33	浜町古墳群	浜町	H23.12	市
12	宿裏遺跡	東金井町	H23.7	民間	34	向野遺跡	高林東町	H23.12	民間
13	市場古墳群	市場町	H23.8	民間	35	細谷東遺跡	細谷町	H23.12	民間
14	新堀遺跡	台之郷町	H23.8	民間	36	向野遺跡	高林東町	H24.1	民間
15	推定東山道駅路 武蔵道	下浜田町	H23.8	民間	37	下田島遺跡	下田島町	H24.1	市
16	中島遺跡	内ヶ島町	H23.8	民間	38	内ヶ島南田遺跡	飯塚町	H24.1	民間
17	高林本郷遺跡 高林鶴巻古墳群	高林南町	H23.8	民間	39	上新田遺跡 世良田環濠集落	世良田町	H24.1	県
18	飯塚古墳群 飯塚条里制水田跡	飯塚町	H23.9	民間	40	東別所新田遺跡	東別所町	H24.1	民間
19	新堀遺跡	台之郷町	H23.9	民間	41	鳥山寺中遺跡	鳥山上町	H24.2	民間
20	天良七堂遺跡	寺井町	H23.9	民間	42	星ノ宮遺跡	東長岡町	H24.2	民間
21	花園遺跡	新田木崎町	H23.9	民間	43	東部地区遺跡群	岩松町	H24.3	組合
22	下小林上遺跡	下小林町	H23.9	民間	44	西田島遺跡	下田島町	H24.3	民間

開発にかかわる調整 平成23年度 事前協議・照合件数および調査面積

	公共事業	民間事業	計
事前照合・協議	50 件	1463 件	1513 件
本発掘調査	5 件	4 件	9 件
確認・試掘調査	6 件	38 件	44 件
学術調査	3 件	0 件	3 件
立会調査	15 件	10 件	25 件
慎重工事	9 件	252 件	261 件
確認・試掘調査面積	661.25 m ²	1,826.86 m ²	2,488.11 m ²
立会調査面積	5,545.70 m ²	120.50 m ²	5,666.20 m ²
本調査面積	6,065.95 m ²	590.00 m ²	6,655.95 m ²
学術調査面積	2,533.25 m ²	0.00 m ²	2,533.25 m ²

中島知久平邸整備事業

(仮称)中島知久平記念地域交流センター整備事業屋根改修

実施期間：平成23年11月9日～平成24年3月27日

太田市重要文化財の中島知久平邸は築後約80年が経過しており、雨漏りなど建物の傷みや老朽化が進んでいました。

そこで屋根の銅板葺き部分やその下の木部の傷んでいる箇所および、銅製の雨樋の傷んでいる箇所を中心に、屋根周りの改修工事を行い、雨漏りを止めることができました。



屋根改修工事の様子

(仮称)中島知久平記念地域交流センター整備事業庭園修景整備

実施期間：平成24年2月9日～平成24年3月13日

屋根改修工事で平行する形で、中島知久平邸の南側と東側の樹木群について、環境保全及び周辺道路の安全の確保を目的として、枝の剪定を行いました。



樹木剪定作業の様子

文化財模擬火災訓練

昭和24年1月26日、国宝の法隆寺金堂壁画が焼失したため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が実施されています。太田市でも、毎年この日に近い日曜日に「文化財模擬火災訓練」を実施しています。

今年度は、平成24年1月22日に安養寺町の明王院^{みょうおういん}境内で実施しました。ここは、新田荘遺跡として、国史跡に指定されています。

訓練は、午前10時からこの明王院本堂より出火という想定で開始され、消防本部・消防団・関係者の協力のもと、初期消火作業、文化財の持ち出し、消火活動、鉄パイプを切断するエンジンカッターの使用、一斉放水などの訓練が行われました。



エンジンカッター使用訓練



一斉放水



新田荘歴史資料館

第3回 企画展 7月16日(土)～9月18日(日)

県内の博物館・資料館の共催展示「上州の戦国時代」をテーマに「金山城とその支城展」と題して、金山城及びその支城となっていた世良田今井城跡、反町館跡、大島城跡からの出土物を中心に展示を行いました。また、館林城跡や山上城跡からの遺物を借用し当地域の遺物の特徴を探りました。

入館者 4,296人



展示の様子



展示の様子



展示の様子



ポスター

内 容	演 題	月 日	講 師	参加者数
講演会	享徳の乱と新田地域の戦乱	7月24日(日)	久保田順一氏 (群馬県地域文化研究協議会副会長)	75人
解説会	享徳の乱と岩松持国・家純	9月18日(日)	森田真一氏 (群馬県立歴史博物館学芸員)	85人

第4回 企画展 10月15日(土)～11月27日(日)

第4回企画展「地域からの発信 近代和風建築の粋－中島邸」では、現在整備中の中島知久平邸の建築の意匠・構造・素材などの最新情報を発信し、群馬県を代表する近代和風建築のすばらしさを紹介しました。

入館者 2,456人



展示の様子



展示の様子



現地見学会の様子



ポスター

内 容	演 題	月 日	講 師	参加者数
講演会	近代和風建築の魅力	10月23日(日)	村田敬一氏 (太田市文化財保護審議委員)	39人
	現地見学会 (中島邸)	11月6日・13日(日)計6回	村田敬一氏 (太田市文化財保護審議委員)	各38人



講座

〔第1回土曜講座〕

● 1月28日（土）午後2時から

演題：世良田長楽寺文書の装幀と伝来

講師：小此木輝之氏（大正大学教授）

参加者数 42人



〔第2回土曜講座〕

● 2月25日（土）午後2時から

演題：長楽寺の密教-ほとけになる儀式をめぐる

講師：定方晟氏（東海大学名誉教授）

参加者数 78人



夏休み体験学習

教育普及事業として、子供たちに文化財に対する関心を抱いてもらうきっかけづくりとして、埴輪づくり教室を開催しました。

〔埴輪づくり教室〕

● 8月6日（土）・7日（日）

講師：植原宗雄氏、講師補助：岡本彰子氏

約30cmの武人埴輪を作製

参加者数 15人



茶会所 大光庵

平成23年4月より茶会所大光庵の管理が移管となりました。

この茶会所は、平成4年、尾島町歴史公園内に建設された木造平屋建て、数寄屋造りで、四畳半の小間と八畳の広間に水屋を備えた本格的な茶室です。日本庭園内には、外腰掛も設けられ四季を通じてお茶を楽しむことができます。

日曜開放（世良田行政センターの事業）のときは、お抹茶を喫することができます。





縁切寺満徳寺資料館

第25回三くだり半企画展 4月23日(土)～6月5日(日)

第25回三くだり半企画展「三くだり半の慰謝料―夫が払った事例を中心に」と題して、江戸時代の離婚にあたり夫側が慰謝料を支払った事例を紹介し、関連文書を展示しました。

●入館者 1,927人



図録

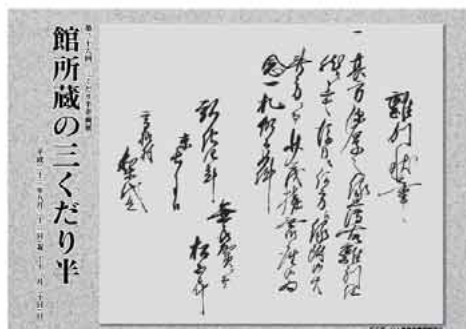


ポスター

第26回三くだり半企画展 9月23日(金)～11月20日(日)

第26回三くだり半企画展では、「館所蔵の三くだり半」について取り上げ、具体的な事例とともに関係文書等を展示しました。

●入館者 2,671人



図録



ポスター

ミニ企画展

企画展名	期間	入館者数
三くだり半この一点「庶民がもちいた花押型の三くだり半」	2月10日(金)～3月25日(日)	1,171人

男女共同参画共催事業として講演会を行いました。

- 日時 10月16日(日)
- 演題 「家族の中での共同参画」
- 講師 金城清子氏
- 会場 縁切寺満徳寺 本堂
- 入館者 79人



徳川大学公開講座

内 容	演 題 ・ 演 目	月 日	講師・出演者	参加者数
講演会	「三くだり半の慰謝料について」	5月15日(日)	高木侃館長	53人
大衆文化講座 「箏曲」	琵琶と箏の調べ	5月22日(日)	仲林光子氏・仲林利恵氏	103人
講演会	「日本の女性天皇」	6月 5日(日)	荒木敏夫氏（専修大学教授）	37人
大衆文化講座 「落語」	「火焰太鼓」 「子別れ」	10月30日(日)	柳家権太楼氏	127人
伝統文化講座 「地唄」	端唄・小唄・新内・上方唄	11月11日(金)	西松布咏氏・華生園氏	50人



高木侃館長



仲林光子氏・利恵氏



荒木敏夫氏



柳家権太楼氏



西松布咏氏



華生園氏

藪塚本町歴史民俗資料館

当館は、藪塚温泉今井館主であった今井新次氏が、県内外から収集した埋蔵文化財などを旧藪塚本町に寄贈したことにより、昭和53年に開館しました。

石田川式の型式資料となった土器や街道橋古墳の陶棺、市内から出土した各種埴輪、その後の発掘調査で出土した石之塔遺跡（縄文時代晩期）の土製耳飾や岩版のほか養蚕関係を中心とした民具を展示しています。

現在、常設展示の一部を変更し、「新田郡庁跡周辺関係資料」を展示しています。



展示の様子



高山彦九郎記念館

企画展「彦九郎とみやげもの —高山彦九郎日記による—」

- 期 間 3月26日（土）～6月30日（木）
高山彦九郎日記にみる土産物を誰にどのように贈ったのかを明らかにし、交流関係や当時の生活、時代背景を浮き彫りにする企画をしました。
- 入館者 595人



展示の様子

企画展「彦九郎和歌の世界 —みそひともじのおもひ—」

- 期 間 3月10日（土）～ 次年度につづく
全国各地を旅した彦九郎は、自ら「儒生^{じゆせい}」と名乗り国学を重視して多くの和歌を残しています。旅の途中で詠んだ和歌や、彦九郎と交流のあった人々が彼の死を惜しんで詠んだ和歌など、多種多様な和歌を紹介しました。



展示の様子

講演会

- 日 時 6月11日（土）午後2時から
- 演 題 「高山彦九郎の旅—孝子良民を訪ねて—」
- 講 師 勝又^{もと} 基 氏（明星大学准教授）
- 参加者 78人
- 会 場 九合行政センター
彦九郎の旅の目的の一つとして孝子良民を訪ねることがあげられるが、その事例を資料で紹介しながら分かりやすく講演いただきました。



勝又 基 氏

学習会・視察

- 〔学習会〕9月10日（土）
 - 講 師 正田喜久氏（高山彦九郎研究会会長）
 - 会 場 高山彦九郎記念館
- 〔視 察〕9月27日（火）参加者 30人
 - 行 先 安楽寺、興禅院、楽山園ほか
「高山彦九郎武州上州の足跡を訪ねる」学習会を実施しました。



視察の様子

史跡金山城跡ガイドンス施設

体験学習

金山の自然を感じながら、施設を多くの方に利用していただくことを目的として、今年度は体験学習室1・2において各種講座を開催しました。

内 容	月 日	回数	講 師	参加者
草木染め教室	5/28・6/25・7/30・8/18・9/10 ^① ・10/15 ^② ・12/3	6回	板野千恵氏	60人
絵手紙教室	8/18・10/20・2/2	3回	松井悦子氏	30人
日本茶を楽しむ	12/3	1回	斉藤一郎氏	12人
切り絵教室	1/22・2/19	2回	塙 喜行氏	29人
まが玉教室	開館日随時受付		職員	396人



絵手紙教室



年賀状を作成



「日本茶を楽しむ」講師



「切り絵教室」作品と参加者

歴史講演会

第4回金山歴史講演会

- と き 平成23年5月22日（日）
- 講 師 小宮俊久（太田市職員）
- 演 題 新田郡衙の発掘調査
- 参加者 49人



第5回金山歴史講演会

- と き 平成23年9月4日（日）
- 講 師 石川安司氏（中世を歩く会会員）
- 演 題 戦国期城郭の石積みと武蔵小倉城跡
- 参加者 36人



第6回金山歴史講演会

- と き 平成23年12月4日（日）
- 講 師 茂木孝行氏（日本考古学協会会員）
- 演 題 金山城の石垣と近隣城郭の石垣について
- 参加者 59人



第7回金山歴史講演会

- と き 平成24年3月18日（日）
- 講 師 落合延孝氏（群馬大学教授）
- 演 題 近世の新田岩松氏
- 参加者 69人





ギャラリー展示

史跡金山城跡を訪れる方々が、ガイダンス施設に立ち寄る楽しみを増やすために多くの展示を企画しました。また、初めて施設を見学される方にも太田市の文化や歴史に触れていただく機会となることを目的としています。



新田郡衙の盛衰を示したパネル



新田郡衙の墨書土器



金山城跡発掘現場の写真と遺物を展示



色々な素材に描かれた絵手紙



新田郡の古代寺院展のポスター



風景や草花など切り絵とした作品

企画展名	期間	来場者
新田郡衙と東山道駅路展	4月26日～ 6月19日	2,681人
金山城跡大手道の発掘調査展	7月16日～ 9月18日	3,770人
秋の色々絵手紙展	9月23日～10月16日	3,180人
新田郡の古代寺院展	10月22日～12月18日	2,188人
切り絵展 - 思い出のアルバム -	1月14日～ 2月26日	1,442人



(仮称) 人間国宝大隅俊平記念美術館建設事業

平成21年10月、太田市の名誉市民であり、国の重要無形文化財保持者（人間国宝）である刀匠大隅俊平氏が逝去し、その後遺族より刀剣制作の仕事場及び生活の場所であった母屋（敷地を含む）が寄付されました。太田市は、氏の作品を展示し、広く市民に公開できる施設の建設・整備をするため、(仮称) 人間国宝大隅俊平記念美術館建設事業をスタートさせ、平成23年4月から文化財課歴史施設係が担当の移管を受け、建設事業を進めてきました。

平成24年秋の開館を予定しています。

- 履行場所 太田市由良町3051番ほか地内
- 履行期間 平成23年7月11日から
平成24年3月16日まで
- 請負者 太田市大原町651番地
加藤建設興業 株式会社
- 工事内容 展示室棟増築 RC造平屋建て
…延床面積93.65㎡
接続通路増築 RC造平屋建て
…延床面積 7.62㎡
木造平屋建既存建物 一部解体
内部改修（床・壁・天井・建具等）
電気・機械設備工事一式



美術館（母屋）入り口



完成した展示室

記念館・資料館 紹介

※4館共通券300円

名 称	住 所	電話番号	入館料	開館時間	休館日
新田荘歴史資料館	世良田町3113-9	0276-52-2215	200円	9:30～17:00	月曜日 ※休日にあたる場合は翌日
縁切寺満徳寺資料館	徳川町385-1	0276-52-2276	200円	※各館とも	
高山彦九郎記念館	細谷町1324-7	0276-32-5632	100円	16:30までに	
藪塚本町歴史民俗資料館	藪塚町149	0277-78-5728	100円	入館	
史跡金山城跡ガイダンス施設	金山町40-30	0276-25-1067	無料	9:00～17:00	